

### (3) 質問者議員 原 歴 史

件名 1 新型コロナ第5波の早期収束に向けた取り組みの推進を。

要旨 1 当市の感染状況について。

- (1) 直近で当市の自宅療養者数はどの程度ですか。
- (2) 自宅療養者への支援として、市はどのようなことを行っていますか。また、どの程度相談がありますか。
- (3) 家庭内感染を防止するための具体的対策に取り組んでください。

要旨 2 市民の検査受検機会を確保するための具体的方策の検討を。

- (1) 市内エッセンシャルワーカーへの抗原定性検査キット活用の進捗はどうなっていますか。
- (2) 府内では1日当たりどの程度モニタリング検査が行われていますか。
- (3) 感染拡大を早期に抑制し、市民が安心して社会経済活動に参加できるよう、泉佐野市や四條畷市などは独自でPCR検査センターを開設しています。国からの交付金を活用し、当市においても市民が無料・安価で利用できるPCR検査センターを早期に開設してください。

要旨 3 検査拡充や事業者支援など、新型コロナ対策で求めてきた国・府への要望は、市としてどのように行われていますか。

要旨 4 教育現場で感染を拡大させない取り組みを。

- (1) 国から「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドライン」が示されましたが、学校現場で感染拡大を防ぐための対策を市教育委員会としてどのように考えていますか。
- (2) 教職員の定期的なPCR検査が行われることになりましたが、そのスケジュールはどのようになっていますか。また、抗原定性検査キットの活用についてはどうなっていますか。

要旨 5 市内事業者へ更なる支援の拡充を。

- (1) 緊急事態宣言下でのPay Payポイント還元キャンペーン開催の判断は、感染拡大防止の観点から妥当であったと考えられていますか。
- (2) 市独自の事業者一時支援金・Pay Payポイント還元キャンペーンの

予算執行率はどの程度ですか。

- (3) 事業者支援予算の余剰金を最大限活用し、市内事業者へ更なる給付型の直接支援を早急に実施してください。売上1割減からも対象とし、支援内容の多段階化や重複支援も検討してください。

件名2 子ども医療費助成18歳までの拡充と入院時食事療養費助成制度の復元を。

要旨1 子どもの医療費助成を早期に18歳まで拡充してください。

要旨2 入院時食事療養費助成を実施している自治体は府内でどの程度ありますか。

要旨3 廃止されたひとり親家庭医療費の入院時食事療養費助成と子ども医療費の入院時食事療養費助成、それぞれの年間実績はどの程度でしたか。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者